TOSHIBA
Leading Innovation

２０１２年　７月　１日
東芝メディカルシステムズ株式会社
サービス本部フィールドサポート部

健診システム　計画停電時の対応について

謹啓
　平素より弊社健診システム（以下「本システム」と表記）をご使用いただき誠にありがとうございます。
　この度は、今夏の電力需給対応として電力会社による計画停電が実施された場合におきまして、本装置の障害を最小限にするため、事前に本装置の停止／起動を行う方法に関し下記のとおりご案内させて頂きます。

謹白

－記－

１．停止／起動に関する注意事項について

１）本システムの停止／起動は、取扱説明書を参照の上、作業を行ってください。システムの規模により、周辺機器・他システムとの関係で操作方法が異なる場合がございます。その場合は、作業を行う前に、最寄の弊社サービスセンターへお問い合わせください。
２）本システムの停止は、計画停電になる前に必ず実施してください。停電による停止は、ディスク不良の原因にもなります。
３）本システムの起動は、「本システムへ検査結果を送信する装置（ME 機器など）」より先に起動してください。

２．停止の作業について

１）サーバシステム／クライアントの停止
サーバシステム及びクライアントの電源は必ずシャットダウン処理を行ってから切断してください。
シャットダウンに要する時間は、データ保存量などにより変わりますが、停電の 1 時間前を目安にシャットダウンを開始してください。
もし、シャットダウン処理を行わずにスイッチを切った場合は、データの消失およびサーバシステムが起動しない恐れがあります。また、通常、本システムの終了は、安定化電源ＵＰＳの自動シャットダウンにより行われます。しかし、今回のように停電が繰り返すと、ＵＰＳの充電が間に合わないため、シャットダウンに必要な時間が確保できないことが予想されます。計画停電に対しては、手動で、シャットダウンの作業を実施してください。

３．起動の作業について

１）本システムへ検査結果を送信する装置の起動
「本システムへ検査結果を送信する装置（ME 機器など）」より先に本システムを起動してください。
２）クライアント／周辺機器の起動
クライアント及び周辺機器の電源は、サーバシステムの電源投入後、完全にサーバシステムが起動したことを確認してからスイッチを入れるようにしてください。
（サーバシステムの起動には約 5 分間要します。）
サーバシステムが完全に起動していない場合には、本システムは正常に起動しません。

ご不明な点は、最寄りのサービスセンタまでご連絡を下さい。

以上